

愛知県公文書館年報

第 19 号

平成 16 年度



目 次

公文書館の概要 - 平成17年4月1日現在 -

1	目 的	1
2	沿 革	1
3	組 織	2
4	業 務	2
5	予算額の推移	3
6	施設の概要	3
7	主な所蔵資料	4

公文書館の業務 - 平成16年度の状況 -

1	所蔵状況	6
2	収集状況	
(1)	公文書の移管	7
(2)	30年保存文書の保管と移管	7
(3)	刊行物等の収集	7
3	整 理	
(1)	公文書	8
(2)	刊行物等	8
(3)	古文書・私文書	8
4	保 存	
(1)	複製物の作成	8
(2)	公文書等の修復	8
5	所蔵資料検索システム	9
6	利用状況	9
(1)	一般利用	10
(2)	行政利用	11
7	展 示	12
8	調査研究	12
9	機関紙の発行	12
○	利用案内・地図	裏表紙

公文書館の概要 - 平成17年4月1日現在 -

1 目的

公文書は、行政上の必要性だけでなく、住民の生活状況や社会の活動状況の経緯や結果を記録したもので、その地域、時代の出来事を後世に伝えるための貴重な歴史的資料である。

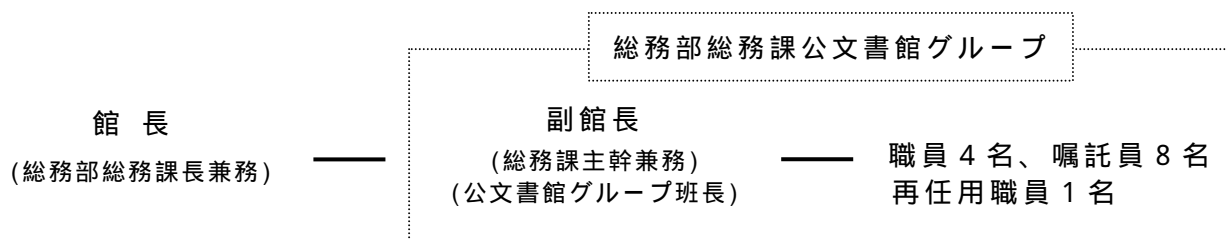
公文書館は、そうした歴史的価値のある県の公文書その他資料を継続的に収集し、整理し、及び保存するとともに、県民の共有財産としてその活用を図り、学術及び文化の発展に役立てることを目的としている。

2 沿革

昭54 . 1 . 22	県及び県議会に対し「公文書保存について」要望（愛知県の歴史資料保存をすすめる会代表 塩澤君夫氏）
9 . 26	県議会に対し「公文書保存体制確立について」請願（愛知県の歴史資料保存をすすめる会会員 結城陸郎氏ほか16名）
10 . 22	9月定例県議会において、上記請願を全会一致で採択
55 . 3 . 10	公文書館設立に係る諸課題を調査研究するため、総務部文書課に「公文書館問題研究班」を設置
10 . 17	「公文書館問題調査報告書」を作成
56 . 4 . 13	歴史的資料としての公文書の保存制度（公文書館制度）の試行的発足に伴う保管文書等の取扱いについて（依命通達）
4 . 17	県民有識者参加のもとに「県立公文書館構想懇談会」を設置
12 . 21	同懇談会の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の基本的な構想について」の意見書を提出
57 . 5 . 31	県民有識者参加のもとに「県立公文書館運営問題検討会議」を設置
58 . 10 . 27	県立公文書館運営問題検討会議の座長が知事に「県立公文書館（仮称）の運営に関する意見」を提出
61 . 2 . 19	愛知県自治センター竣工
3 . 24	「愛知県公文書館条例」を議決（3月26日公布、7月1日施行）
6 . 25	愛知県公文書館規則公布（7月1日施行）
6 . 30	公文書館開館式典の挙行
7 . 1	公文書館開館（初代館長 藤原恂二）
62 . 12 . 15	公文書館法公布（63年6月1日施行）
63 . 4 . 1	行政委員会等文書収集開始

平 2 . 4 . 1	資料課分掌事務に「県史編さんに関すること」を追加（愛知県行政組織規則の一部改正）
10 . 31	愛知県史資料編さんに関する検討会設置
3 . 9 . 20	愛知県史資料編さんに関する検討会の座長が総務部長に「愛知県史資料編さんに関する報告書」を提出
4 . 6 . 15	愛知県史資料懇談会設置
11 . 12	第 1 8 回全国歴史資料保存利用機関連絡協議会全国大会開催（11月12日・13日）（全史料協・愛知県主催）
5 . 3 . 10	愛知県史資料懇談会会長が知事に「愛知県史資料の調査収集及び県史の編さんについて検討結果報告書」を提出
7 . 16	県史編さん準備会議（全体会議）開催
6 . 4 . 1	愛知県史編さん事業が開始 県史編さん事務が総務部文書課の事務となる
9 . 12 . 1	『愛知県公文書館だより』創刊
11 . 1 .	愛知県公文書館のホームページ開設
4 . 1	総務部文書課の直接管理となる 館長が文書課長兼務、副館長が文書課主幹兼務となる
12 . 4 . 1	部制再編に伴い総務部総務課所管となる 館長が調整監兼総務課長兼務、副館長が総務課主幹兼務となる
14 . 4 . 1	館長が総務部総務課長兼務となる
16 . 3 . 22	所蔵資料検索システムが稼動

3 組 織



4 業 務

公文書館における業務は、次のとおりである。

- (1) 公文書等を収集し、整理し、及び保存すること。
- (2) 公文書等を利用させること。
- (3) 公文書等を展示すること。
- (4) 公文書等に関する調査研究を行うこと。

5 予算額の推移

年度別当初予算額

(単位：千円)

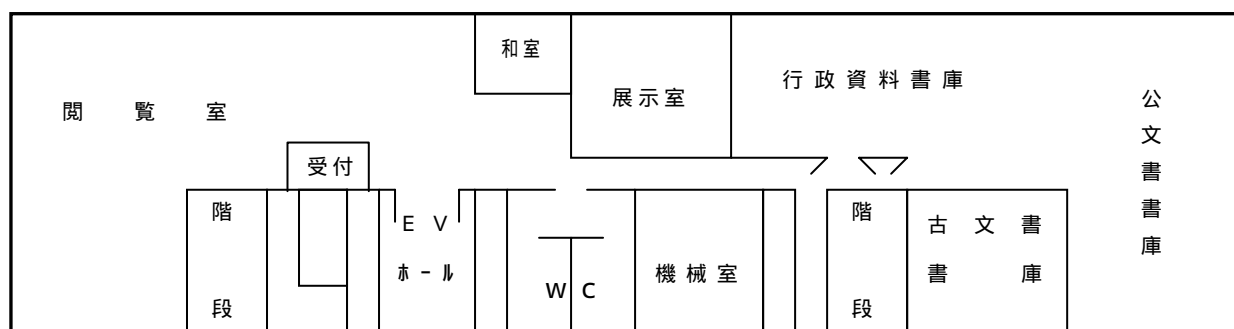
区 分	平成15年度	平成16年度	平成17年度
管理運営費	4,475	3,057	2,370
文書整理費	3,022	3,257	6,950
計	7,497	6,314	9,320

6 施設の概要

施設の規模	2,279.35m ²		
書庫	1,229.09m ²	閲覧室	254.46m ²
閲覧和室	31.02m ²	展示室	112.80m ²
整理室、事務室等	651.98m ²		
ハロンガス消火設備	書庫、整理室・、保管室、マイクロ保管庫		
床荷重補強	書庫部分 最高 1,200kg / m ²		
資料の収蔵能力	約29万冊 (書架延長13.5km)		
公文書館の平面図			

愛知県自治センター

7 階



8 階



7 主な所蔵資料

資 料 区 分	内 容	公開冊数
名古屋藩庁文書 (幕末～明治4年)	明治初期における名古屋藩が作成、管理していた文書。旧尾張藩時代から引き継いだものや廃藩置県以後の記録も含まれる。名古屋藩における職制・藩制等の改革に関する一連の文書や、新政府への報告書等がある。	107冊
愛知県庁文書 (明治5年～昭和初期)	1872(明治5)年、愛知県の成立以後昭和15年までの文書(愛知県成立以前の尾張・三河の旧県庁からの引継文書も含む。)で、開館時に愛知県文化会館から引き継いだもの。草莽諸隊の土族復籍運動に関する文書や、明治期の学務課文書などがある。	220冊
地籍図・地籍帳	1883(明治16)年の内務省達乙第16号によるもので、1884(明治17)年3月17日付け愛知県布達乙第14号に基づき各郡区戸長から提出されたもの。一部欠けている部分もあるが、県下、ほとんどの町村のものを所蔵している。 なお、地籍図については、原図の保護のため、所蔵するすべての図の複製化が終了している。	地籍図2,199枚 地籍帳2,424冊
郡役所文書	1878(明治11)年から1926(大正15)年まで設置された郡役所の文書。郡役所が廃止された後、県庁に引き継がれた文書と、県事務所引き継がれ、公文書館に移管された文書。	349冊
徳川林政史研究所所蔵 「愛知県庁文書」等	旧藩書類、旧県々書類、学校願伺留、尾三士族名簿、旧名古屋税務監督局所蔵文書など各分野にわたり主に幕末から明治前期にかけての愛知県成立期における本県の状況がわかる文書。	複製本2,056冊

国文学研究資料館所蔵 「愛知県庁文書」等	共進品評博覧会一件、会社関係書類綴、貸下金決議留、北海道移住民一件など兵事、学事、商工、土木を中心とした1873(明治7)年から昭和初期までの本県に関する文書。	複製本2,404冊
資 料 区 分	内 容	公開冊数
国立公文書館所蔵 「愛知県史料」	内閣文庫が所蔵する「府県資料」のうちの本県分	複製本23冊
行 政 刊 行 物	明治から現在までの県が作成又は取得した刊行物	約72,000冊・点
古 文 書 ・ 私 文 書	愛知県教育会等文書、宮脇家文書、大槻家文書、大脇家文書など	3,275点

* 他機関所蔵「愛知県庁文書」等について

1938(昭和13)年、現在の県庁舎が竣工し、南武平町から移転する際、多数の古い公文書が廃棄決定され、明治期公文書の多くが尾張徳川黎明会に下附された。その一部が現在、(財)徳川黎明会徳川林政史研究所、国文学研究資料館に所蔵されている。

また、水産総合研究センター中央水産研究所には、水産関係の愛知県庁文書が所蔵されている。

本県では、公文書館設置に際し、これらの機関に所蔵されている県庁文書(徳川林政史研究所所蔵「旧名古屋税務監督局所蔵史料」を含む。)を全てマイクロフィルムで撮影し、複製本を作成して利用できるようにした。

公文書館の業務 - 平成 16 年度の状況 -

1 所蔵状況

平成16年度末現在の所蔵資料は次のとおりである。行政刊行物の複本（3冊目）を廃棄したため、所蔵数が減少した。

(単位：冊・巻・点)

資 料 区 分		数 量	
		15 年度末	16 年度末
公 文 書	原 本	60,141	61,862
	複 製 本	6,870	6,870
	マイクロフィルム	8,737	9,049
	合 計	75,748	77,781
刊 行 物 等	原 本	95,017	71,861
	複 製 本	20	20
	マイクロフィルム	3,052	3,052
	合 計	98,089	74,933
古 文 書 ・ 私 文 書	原 本	3,275	3,275
	複 製 本	27	28
	合 計	3,302	3,303
旧 公 印		293	306
合 計		177,432	156,323

(備考) 上記以外に、資料のデジタルデータ化を行った。

年 度	資料名とその数量(冊・点・枚)	収 録 先
14 年度	地籍帳 2,424	コンパクトディスク
15 年度	藩庁文書・県庁文書等 923	コンパクトディスク
16 年度	地籍図 2,208	D V D

2 収集状況

(1) 公文書の移管

公文書については、廃棄予定文書の中から、歴史的価値があると判断されるものを選別・収集している(行政委員会等については、昭和63年度から収集開始)。

平成16年度は、知事部局のほか、教育委員会、選挙管理委員会、人事委員会、労働委員会、収用委員会、海区漁業調整委員会、内水面漁場管理委員会、及び公営企業管理者の文書を選別し、移管を受けた。

(2) 30年保存文書の保管と移管

30年保存文書(かつての永年保存文書)については、保存期間が20年を経過し、主務課等から保管の依頼があったものを保管する。その後、保存期間が30年を経過し廃棄予定とされたものの中から、歴史的価値があると判断されるものを選別・収集し、保存している。

なお、県公報及び官報については、最新のものまで収集し、製本して受け入れている。

平成16年度公文書等収集状況

区 分		数 量
公 文 書	知 事 部 局 本 庁	1,454
	知 事 部 局 地 方 機 関	142
	教 育 委 員 会	58
	選 挙 管 理 委 員 会	3
	人 事 委 員 会	16
	労 働 委 員 会	35
	収 用 委 員 会	10
	海 区 漁 業 調 整 委 員 会 内 水 面 漁 場 管 理 委 員 会	2
公 営 企 業 管 理 者	1	
刊 行 物	県 広 報 ・ 官 報	106
	県 の 機 関	1,545
	そ の 他	193
古 文 書 ・ 私 文 書		1
旧 公 印		13
合 計		3,579

(3) 刊行物等の収集

複製本

県の機関の刊行物は、

「行政資料の収集及び閲覧に関する規程(平成13年愛知県訓令第4号)」により、県民生活部広報広聴課を経由して収集する方法と、

「愛知県公文書館公文書等管理規程(昭和61年愛知県訓令第10号)」により、直接収集する方法がある。

県の機関以外の刊行物等は寄贈を受けている。

3 整理

(1) 公文書

移管を受けた公文書(決裁文書)は、件名目次の作成、データ入力など所要の整理を行い、原則として事案の完結後30年を経過した公文書について、整理が済み次第、順次利用に供している。

平成16年度末現在で、所定の整理を終え利用に供しているものは16,305冊・点(名古屋藩関係記録、郡役所関係文書等を含む。)である。

(2) 刊行物等

平成16年度に収集した刊行物等は1,844点で、これらについては、必要な整理作業(データ入力、受付印の押印、配架等)を行った。

(3) 古文書・私文書

平成16年度は、古文書・私文書の収集はなかった。既蔵の鬼頭勝之氏収集文書のうち2点を複製し合冊製本して受入れた。

4 保存

(1) 複製物の作成

収集した原本を保護・保存するため、必要に応じてマイクロフィルムなど複製物を作成し、利用に供している。これまで、明治期の県庁文書などについては複製本等を作成し、地籍図については特殊プリント方式による複製化を行ってきた。

平成16年度は、事案の完結後30年経過した公文書(約1,600冊)のマイクロフィルム化を行った。また、利用頻度の高い地籍図複製図(2,208枚)について、将来的な劣化を避けるとともに、パソコンによる検索・閲覧を可能とするため、デジタルデータ化を行った。

(2) 公文書等の修復

資料の簡単な修復等については館内で実施している。虫損の甚だしいもの等については外部に委託している。

平成16年度は、虫損の激しかった地籍帳36冊の裏打ちを行った。

5 所蔵資料検索システム

県民共有の財産である本館所蔵資料を一層多くの人に利用してもらうため、インターネットによる検索システムを導入し、平成16年3月から提供している。

(特 色)

- ・ 一部資料(主に公文書)については、件名目次のデータベース化を進めており、整備済みのものは、件名による検索や件名目次一覧の表示が可能
- ・ 資料名等の一部入力での検索が可能
- ・ 資料区別検索のほか、全資料にまたがる検索も可能
- ・ 作成年代については、期間での検索が可能
- ・ 閲覧を希望する場合に必要な閲覧票が、自宅や会社で出力可能
- ・ 本館閲覧室においても、資料検索から閲覧票の出力までが可能

6 利用状況

開館時から平成16年度末までの、各年度別の利用状況は次のとおりである。

年 度		12年度まで	13年度	14年度	15年度	16年度	計
開 館 日 数 (日)		3,713	235	237	240	234	4,659
入館者数(人)	一 般 利 用	48,209	3,095	3,118	3,572	3,632	61,626
	行 政 利 用	8,888	722	840	629	467	11,546
	計	57,097	3,817	3,958	4,201	4,099	73,172
	1日平均入館者数	15.4	16.2	16.7	17.5	17.5	15.7
利用冊数(冊)	一 般 利 用	57,515	6,902	6,305	6,251	4,389	81,362
	行 政 利 用	41,278	5,598	3,816	2,504	1,720	54,916
	計	98,793	12,500	10,121	8,755	6,109	136,278
	1日平均利用冊数	26.6	53.2	42.7	36.5	26.1	29.3
複 写 利 用 枚 数 (枚)		163,836	18,527	17,711	22,818	24,568	247,460

(1) 一般利用

平成16年度末現在、一般利用の対象になっている資料は、事案の完結後30年を経過した県の公文書（決裁文書）、他機関所蔵の愛知県庁文書のマイクロフィルムと複製本、県公報、官報、刊行物等108,901冊・巻・点である。

月別利用状況

月	開館日数	入館者数(人)	利用冊数(冊・点)	複写件数(件)
4月	18	262	251	56
5月	18	272	317	62
6月	22	302	1,007	67
7月	21	270	464	56
8月	22	317	319	73
9月	20	346	427	66
10月	20	436	252	75
11月	20	400	319	75
12月	18	256	232	36
1月	18	242	193	42
2月	19	238	286	53
3月	18	291	322	60
計	234	3,632	4,389	721

一般利用状況

(単位:冊・巻・点)

項目		年度	12年度まで	13年度	14年度	15年度	16年度	計
公文書	公文書		4,854	213	269	442	610	6,388
	地籍図・地籍帳		15,478	1,844	2,455	1,554	968	22,299
	他機関所蔵資料		19,323	3,110	2,059	1,900	1,391	27,783
	公報・官報		6,348	604	557	692	346	8,547
	計		46,003	5,771	5,340	4,588	3,315	65,017
刊行物等	行政刊行物		7,664	547	376	502	582	9,671
	県史・市町村史誌		1,336	92	43	112	110	1,693
	参考図書等		2,512	492	546	1,049	382	4,981
	計		11,512	1,131	965	1,663	1,074	16,345
合計			57,515	6,902	6,305	6,251	4,389	81,362

(2) 行政利用

平成16年度の部局別行政利用の状況及び開館時から平成16年度までの行政利用状況は次のとおりである。

部局別行政利用状況

部局	項目	閲 覧		借 覧		計	
		人数(人)	点数(冊・点)	人数(人)	点数(冊・点)	人数(人)	点数(冊・点)
知事部局	総務部	66	267	28	40	94	307
	企画振興部	9	59	3	3	12	62
	県民生活部	8	18	3	3	11	21
	環境部	2	6	10	56	12	62
	健康福祉部	21	48	9	15	30	63
	産業労働部	5	12	7	12	12	24
	農林水産部	57	267	39	95	96	362
	建設部	41	130	33	65	74	195
	国際博推進局	7	79	0	1	7	80
	出納事務局	1	4	0	0	1	4
	地方機関	57	404	13	32	70	436
	計	274	1,294	145	322	419	1,616
行政委員会等	企業庁	6	8	0	0	6	8
	議会事務局	0	0	0	0	0	0
	教育委員会	36	89	4	4	40	93
	公安委員会	0	0	0	0	0	0
	選挙管理委員会	0	0	0	0	0	0
	監査委員会	1	2	0	0	1	2
	人事委員会	0	0	0	0	0	0
	地方労働委員会	0	0	0	0	0	0
	収用委員会	0	0	1	1	1	1
	海区漁業調整委員会	0	0	0	0	0	0
内水面漁場委員会	0	0	0	0	0	0	
計	43	99	5	5	48	104	
合計	317	1,393	150	327	467	1,720	

行政利用状況

年度	項目	閲 覧		借 覧		計	
		人数(人)	点数(冊・点)	人数(人)	点数(冊・点)	人数(人)	点数(冊・点)
平成12年度まで		6,167	33,865	2,721	7,413	8,888	41,278
平成13年度		587	5,345	135	253	722	5,598
平成14年度		662	3,424	178	392	840	3,816
平成15年度		488	2,244	141	260	629	2,504
平成16年度		317	1,393	150	327	467	1,720
計		8,221	46,271	3,325	8,645	11,546	54,916

7 展 示

本館では、公文書館制度の普及と資料の利用促進を目的に、展示室において館蔵資料を中心とした展示を行っている。

常設展は「愛知県の成立」と本館の「主な所蔵資料と業務」をテーマに公文書やパネルで構成している。また、館蔵資料から数点ずつ選んで順次紹介するコーナーを設けており、『(明石藩)日記』や大脇家文書(寄託資料)などを展示した。

常設展のほか、平成16年度は下記のとおり企画展を開催した。

第30回企画展

期 間 平成16年10月1日(金)～11月30日(火)

テーマ 愛知のモノづくり 本草学から博覧会へ

愛知県では平成17年3月25日から9月25日まで、2005年日本国際博覧会(愛称「愛・地球博」)が開催されている。万博開幕を半年後にひかえた平成16年度の企画展では、わが国の博覧会の源流としての本草学や共進会、博物館の歴史を振り返り、あわせてモノづくり愛知の黎明期における国・県の勸業政策や代表的な産業の状況を紹介することにした。

館蔵資料以外では、名古屋生まれの本草学者・伊藤圭介の関係資料や、知多半島における葡萄酒製造の試み、瀬戸の窯業などの状況を示す資料を展示した。また、90年前のサンフランシスコ・パナマ太平洋万国博覧会の写真が県民から提供され壁面を飾った。

なお、愛・地球博のコーナーも設け、PRパネルや超大型ポスター等を掲示した。



8 調査研究

本館では、公文書等の収集、整理、保存及び利用の業務を行うに当たって、公文書等に関する内容、保存状況、歴史等についての調査研究を行っている。

平成17年3月に『「愛知県庁文書」所収の濃尾地震資料』(A4判 203ページ)を刊行した。これは、平成15年度企画展「明日に備えて 史料に見る愛知の地震」のために調査した明治期公文書について資料集としてまとめたものである。

本館に複製本がある国文学研究資料館所蔵「愛知県庁文書」の件名目次の作成については、複製本2,404冊のうち833冊が平成16年度末までに終了した。

9 機関紙の発行

公文書館について広く県民に知らせ、利用促進を図るため、『愛知県公文書館だより』第9号(平成17年2月25日)を発行した。

利用案内

- 1 開館時間
午前 9 時 ~ 午後 5 時
- 2 休館日
土曜日、日曜日、国民の祝日
年末年始（12月28日 ~ 1月4日）
整理期間（春季10日以内）
- 3 複写
有料 一部できない資料もあります。
- 4 展示
展示室において所蔵資料を中心とした展示を行います。

案内地図



地下鉄名城線「市役所」駅下車 5 番出口
市バス・名鉄バス（基幹バス）「市役所」下車
名鉄バス「県庁前」下車

愛知県公文書館年報

平成 17 年 6 月 発 行

発行 愛知県公文書館

名古屋市中区三の丸二丁目 3 番 2 号

愛知県自治センター内

Tel 052-954-6025(ダイヤルイン)

Fax 052-954-6902

ホームページ <http://www.pref.aichi.jp/kobunshokan/>

E-mail kobunshokan@pref.aichi.lg.jp